



にじの郷たにやま通信

2016年 8月発行 第24号

発行責任者／理事長 久保 正和 鹿児島市中山町5028番地80 電話099-267-3977

目次

「虹の福祉会3か年計画」を策定	P1
2016年度事業計画	P2
第10期の役員体制／ 2016年度 法人・事業所管理者、責任者体制	P3
写真で見る特養ホームの1年	P4
介護保険制度学習会／ 特養ホーム看取りケアの取り組み発表／ 地域活動の取り組み(ケアハウスにじの郷小松原)	P5
にじのさと保育園開園10年！	P6
2015年度事業報告	P7
在宅介護サービスについて 寄付をいただいた方々&ボランティアの皆様方	P8



法人設立20周年に向け 2016年3月理事会にて

「虹の福祉会3か年計画」を策定しました。

期間:2016年度~2018年度

社会福祉法人鹿児島虹の福祉会は、2018年度に法人設立20周年を迎えます。今年度からの3年間は社会福祉法人の組織機構改編、鹿児島市の「総合事業」の開始、幹部職員の世代交代など、制度的・体制的な転換期をむかえます。また、特養ホーム施設設備の大規模な補修や設備の更新も必要になります。

介護報酬が下がり続ける中で、職員の安定的な確保のためには、個々の職員の処遇改善が不可欠です。そのためには徹底した業務改善と個々の職員のスキルアップが必要です。福祉サービスの質の向上につながる教育研修を充実させること、電子システムの活用や介護補助用器具等を積極的に活用することはその前提となる課題です。

虹の福祉会にとっては初めての3か年計画を管理者・各事業所責任者の活動の指針とし、全職員が力を合わせて設立20周年を迎えられるようにします。

「3か年計画」目次

- (1) はじめに
- (2) 法人の沿革の概要と事業活動の到達
- (3) 情勢について
 1. 事業運営の基盤となる社会保障制度の現状と今後の動向
 2. 地域の中の社会福祉事業へのニーズと供給体制の状況
- (4) 「3か年計画」
 1. 施設整備計画
 2. 既存事業の発展計画
 3. 業務運営、福祉サービスの向上
 4. 施設設備の維持管理計画
 5. 資金計画
 6. 法人・事業所に責任を負う幹部管理者養成
 7. 社会福祉法改定後の法人組織機構の確立
 8. 20周年記念事業

「3か年計画」の初年度

新しい管理者体制のもとで、これまで培ってきた 個々の力量を集団的に発揮する仕組みづくりを

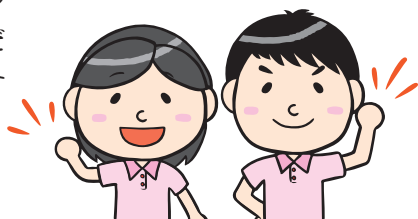
2015年度の介護報酬マイナス改定は2016年度にも引き続いて影響を与えており、経営環境は依然として厳しいものになると思われまます。したがって、職員体制の確保と、利用者数の拡大が事業活動の中心課題です。

人事体制では、介護事業で新規事業開設への対応を含めた事業所の管理者体制の大幅な異動を行いました。新しい管理者の下で、これまで培ってきた個々の力量を集団的に発揮する新たな仕組みづくりが求められています。

2018年の法人設立20周年にむけて「虹の福祉会3か年計画」を策定しました。2016年度は「3か年計画」達成の初年度として事業計画・予算を総達成しましょう。

＜事業運営の基本的視点＞

- 1) 「虹の福祉会3か年計画」を役職員全員のものとし、単年度ごとの事業活動の具体化をすすめ、諸活動を推進します。
- 2) 主たる事業である介護・保育サービスの向上を図ります。
- 3) 経営環境が厳しくなる中で、地域福祉の様々な事業を持続し発展させるための経営基盤の確立は、これまで以上の努力が必要です。既存事業の安定的な運営と赤字事業所の経営対策を強化します。
- 4) 介護報酬が実質的に引き下げられていく中で、一人ひとりの職員の業務力量の向上が不可欠の課題です。ケアの質を高める取り組み、電子システムの活用をはじめ業務基準手順の見直し改善を推進します。
- 5) 各事業の責任者の新たな任命など職責者の育成登用をすすめ、法人運営に責任を持つ幹部・管理者体制づくりをすすめます。系統的な職責者の任命など職員の持てる力を引きだす管理運営をすすめます。



2016年度事業計画(概要)

- 1) 介護事業は、施設介護では、利用者の要介護度が全体的に高まっており、安全性を向上させる活動をさらに強め、事故や緊急入院を減らします。個々の職員の力量を高め業務改善をすすめます。居宅介護事業は、利用者から選ばれる事業所づくりを事業運営の基本に据え利用者拡大をすすめます。2017年度からはじまる新しい地域支援総合事業への対応について、新規事業の展開もふくめて対応を検討します。
- 2) 保育事業(にじのさと保育園)は、「保育の質・安全性・満足度」をさらに向上させた保育活動を実践します。園児受入定員に必要な保育士等の人員体制を確保し、安定的な運営ができるようにします。
- 3) 職員の採用対策を一段と強化し定員計画に基づく職員体制の安定的な確保に努めます。
- 4) 法人内の教育研修をさらに充実させるとともに、社会福祉の専門職として力量や意欲の向上につながる外部研修を計画的に活用します。介護事業ではファーストステップ研修や認知症ケア研修など計画的な受講をすすめ、アセッサー(評価者)を養成しキャリア段位制への対応をすすめます。
- 5) 介護・保育サービスの質の向上を常に追求し、利用者の満足度を高め利用者拡大につなげます。日常的な接遇の向上に努めます。
- 6) 鹿児島市介護保険事業計画などを視野に入れた新規事業の検討をすすめ、小規模多機能型居宅介護事業の開設に向けて準備をすすめます。
- 7) 社会福祉法人としてのガバナンス(組織の統治)やコンプライアンス(法令等の遵守)の向上及び業務改善に努め、諸規程の整備をはじめとした組織整備を引き続きすすめます。社会福祉法改定にもとづいた組織機構整備をすすめます。介護事業整備と連動してより多くの職員が法令遵守の取り組みに参加できるよう内部監査体制を強めます。
- 8) 社会福祉法人制度改革の動向も含めて地域貢献活動の展開についての検討をすすめます。引き続き介護・保育の実習やボランティア体験などの受け入れに積極的に対応します。

第10期の役員体制が承認されました

2016年5月24日の評議員会で第10期の役員が選任されました。

7月9日に開催された理事会で理事長等の互選が行われ、役員体制が確立しました。

今期は社会福祉法改正により、任期は2016年7月9日から2017年度定時評議員会終結時までとなります。

理事長	久保 正和 (新任)
副理事長	木田 博文 (再任)
常任理事	田中 喬也 (新任)
理事	小田 広行 (再任) 小園 隆 (再任)
	竹下 順造 (新任) 田中 安平 (再任)
	水谷 吉伸 (再任) 宮田 敦代 (再任)
監事	上川路長生 (再任) 加治屋忠一 (再任)

退任役員：小田村壽男前理事長 清水信一前理事



7/9小田村前理事長の退任慰労会

2016年度 法人・事業所管理者、責任者体制

	役職	任務	担当者
法人本部	法人本部長	・法人統括責任者	久保 正和
	介護部長	・介護活動責任者	竹下 順造
	看護部長	・看護活動責任者	宮田 敦代
	事務長	・事務責任者	田中 喬也
ホーム	施設長	・ホーム運営責任者	竹下 順造
	副施設長	・ホーム施設長補佐	宮田 敦代
	介護課長	・施設長補佐、介護支援専門員兼務	前田 明代
	看護課長	・副施設長補佐、機能訓練指導責任者	樋渡かよ子
	介護主任	・生活相談員、介護支援専門員兼務	田代 真也
		・生活相談員、シフト担当責任者	上村 朋寛
		・西チーム責任者	地頭所智子
		・東チーム責任者	五反田佳岳
	看護主任	・ユニット責任者	熊谷 正樹
		・医務室責任者	東 広江
事務長	・事務責任者	田中 喬也	
事務課長	・事務長補佐、経理業務責任者	小原 聖子	
デイにし	所長	・事業所管理者	池田 義信
	主任	・所長補佐、機能訓練責任者	中川 朋子
ヘルパー	所長	・事業所管理者 (※ホーム副施設長兼務)	宮田 敦代
居宅	所長	・事業所管理者	山口 昌子
	主任	・所長補佐	有村 英子
訪問入浴	所長	・事業所管理者 (※デイにし管理者兼務)	池田 義信
デイ本町	所長	・事業所管理者	山下 和宏
ケアハウス	施設長	・ケアハウス運営責任者	小田 広行
	課長	・施設長補佐、介護業務責任者	迫田恵理奈
	主任	・課長補佐	松元憲一郎
新規事業	主任	・小規模多機能ホーム開設準備責任者	竹内 弘樹
保育園	園長	・保育園運営責任者	針元 嘉子
	課長	・園長補佐	青屋菜穂子
	主任	・課長補佐	本島 志穂



理事長
法人本部長
久保 正和



介護部長
ホーム施設長
竹下 順造



看護部長
ホーム副施設長
宮田 敦代



事務長
田中 喬也



ケアハウス施設長
小田 広行



保育園園長
針元 嘉子



居宅介護支援所長
山口 昌子



デイにし所長
池田 義信



デイ本町所長
山下 和宏

写

真

で

見

る

2015年夏～2016年春

特養ホームの1年



クリスマス会



買い物(ホームセンター)



秋まつり(職員によるエイサー)



水族館へ外出



広場での茶話会



運動会



もちつき大会



百寿のお祝い



米寿のお祝い



バラ園へ外出



保育園児たちとの夏まつり



コスモス花見

特養ホームのご利用者様は、現在、従来型では、平均年齢86.2歳、平均要介護度4.6、ユニット型では、平均年齢87.5歳、平均要介護度4.3となっています。

ご利用者様が、一日いちにちを大切に過ごされている姿を見て、私たち職員もいっそう心のこもった介護に励もうという元気ももらっています。

「写真でみる特養ホームの1年」で掲載している写真は、ほんの一部ですが、季節による行事、気分転換などを目的にした行事など多くの行事を職員のア

イデアによって企画、実施してきました。秋まつりのエイサーなどは、先輩職員から後輩職員へと引き継がれ、それが、今では、当特養ホームの伝統と成りつつあります。

ご利用者様の生活は、ご家族をはじめ、多くの職種の連携のもと成り立っています。

これからも、これらの方々との協力のもとご利用者様に安心した生活を提供していきます。

地域の公民館で出前の 介護保険制度学習会

スライドと寸劇でわかりやすく解説しました

特養ホームの地域への貢献活動の取り組みとして、介護保険制度の学習会を行いました。

民生委員さんに手配していただき、近隣の公民館に出向いて、スライド等での説明だけではなく、どなたにも解りやすいようにと寸劇で臨場感を出す工夫を行いました。参加者からは好評のお声をいただき、施設へのご理解もいただくことができました。

今後とも地域の方々との交流の輪を広げていきたいと思います。介護保険制度や介護のことでの相談も受けておりますので、お声をかけてください。



▲スライドでの学習(中山下公民館)



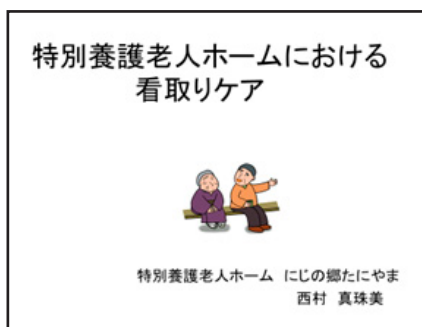
▲寸劇(小松原地区学習会)



▲寸劇の俳優



特養ホーム看取りケアの取り組みを 県連交流集会で発表しました



▲パネリストとして
発言

特養ホームの介護活動の大きな特徴のひとつに看取りケアがあります。

毎年6月に開催されている県連交流集会(鹿児島県民医連の学術運動交流企画)の今年のテーマは「支えあう終末期ケア～私たちにできること～」でした。

にじの郷たにやまの看取りケアの取り組みを、パネルディスカッションのパネリストとして発表することになり、西村真珠美介護福祉士の報告にたくさんの賞賛の声が寄せられました。

年々施設での看取りを望まれる方も増えています。最期まで尊厳を失わず、その人らしく安らかな最期を迎えられるよう、医療・介護の連携のもとで、本人、ご家族の想いを大切にしたいケアを継続していきます。

ケアハウスにじの郷小松原 地域活動の取り組み

ケアハウスでは開設当初から地域との連携をすすめています。地域交流の一端を紹介します。



町内会夏祭りへの参加



医療生協まちかど健康チェック



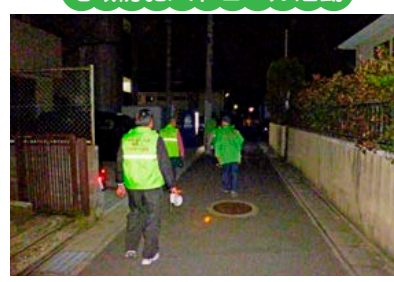
地域防犯パトロール活動



小松原1丁目交流会



ごみステーション美化運動



にじのさと保育園開園10年!

～子どもは宝、親は子育て仲間～

開園して10年目になり、にじのさと保育園の卒園一期生は、中学3年生になりました。卒園児がスポーツや硬筆などさまざまな活躍している知らせをきくと、本当にうれしいものです。入学式や何かの折に、保育園に遊びに来てくれる卒園児がいます。10年も経つと、こんなうれしいこともあるんだという出来事がありました。それは、卒園児が中学校の職場体験として保育園に戻ってきてくれたことです。すっかり大きくなった子どもたちは、とても礼儀正しかったり、また、自立に向けた反抗期に突入していたり、手応えのある成長ぶりを見せていました。それでも、保育園の子どもたちの「リズムあそび」をみたり、「雑巾がけ」をみると、思いだしたように一緒にやってくれたり、自分たちが小さかった当時の頃そのままに、小さい子にやさしく手を差し伸べたりするすがたがありました。

子育てをしながら仕事をする親たちは葛藤の日々にあります。ある親は、子どものイヤイヤ期に手を焼き、朝の時間がないときに断固着替えないわが子をパジャマのまま「せんせい、ごめんなさい。あとお願い」と保育園に預けて仕事に向かっていました。ある親は、朝、子どもが泣きやまなくて困り果て「どうしていいかわからない」と保育園に電話をかけてきて、保育者が自宅まで行って子どもを保育園に連れてきたこともありました。



▲卒園児と園児、一緒にサッカー



▲初の卒園生



▲中学生職場体験



▲2年目卒園生

親が子どもを一人前に育てるまでには、子どもたちのありとあらゆる要求に対応しながら、自分の価値観を振り返り、親も葛藤しながら成長をしていくものです。子どもはみな同じように育つわけでもなく、育て方に正解があるわけでもない子育ては根気がいります。乳幼児期の子どもたちと、子育て中の親が集まる保育園で、親も子ども揺れ動きながら成長しています。

そんな保育園を支える保育者たちも子どもの育ちを見守り、親を支え、力となり頑張っています。制度も変わりつつありますが、人間を育てる仕事をもっと社会的に重要視されなければ、子どもたちの将来に影響する保育の質も危うくなるのではないかと心配です。たくさんの人と関わり育ち合う子どもたち、次世代を担う子どもたちを立派に育てている親たち、それを支える保育者たちは今日も元気に頑張っています。



▲親子でリレーとドッジボール大会



▲保護者懇談会で、リフレッシュ体操
その後、子育ての学習会

5月24日、理事会・評議員会にて、 2015年度事業報告・決算が承認されました

【介護事業】

- 基本報酬が4.48%大幅に引き下げられる中で、各事業所で日常生活継続支援加算の増額、新たに経口維持加算、サービス提供加算、医療連携強化加算、中重度ケア体制加算、認知症加算など取得しました。
- ホーム、ショート、ケアハウスの施設系事業はほぼ計画通りの入所者・利用者確保しました。状態に応じて、ショートやケアハウス利用者からのホーム入所の受け入れをすすめました。
- 居宅介護事業所はそれぞれ選ばれる事業所として特徴ある取り組みをすすめました。デイにじでは、認知症対応、中重度対応加算を取得しサービス提供体制を整えました。デイ本町は認知症対応型ならではの特徴を知らせる取り組みをすすめています。ヘルパーは職員の限られた体制の中で利用者のニーズに応えるサービス提供につとめました。居宅介護支援は順調に利用者数が伸びています。

【保育事業】

- 「子ども・子育て支援新制度」への円滑な対応をすすめました。
- 保育士の安定的な確保をめざして職員補充をすすめていますが、現状ではまだ不足しています。保育士が十分に確保できず、入園児数は前年実績を下回り、一時保育事業も縮小しました。
- 親子の交流、保護者同士の交流、定期的なクラス懇談会の開催、運動会や発表会などを通して、子どもの身体の育ちや心の育ちを保護者と確かめることができました。また、異年齢児交流、育児講座「わくわく広場」、中山校区公民館の子育てサロンへの出張保育など地域との交流を進めました。

【事業運営】

- 介護事業、保育事業ともに教育研修をさらに充実させる取り組みをすすめました。
- 経理規則にもとづく決裁システムの見直しなどの内部統制の整備をすすめました。元金償還計画、中期的投資計画や大規模改修計画など長期経営試算の検討をすすめ、「3か年計画」に反映しました。
- 接遇改善活動を管理ラインでの徹底をはかり推進しました。
- ノーリフトの取り組みをすすめ、ノーリフト推進員が現場でのリーダーとしての役割を果たしました。
- 県連交流集会などへの発表抄録や法人学習会の記録、保育園の活動のまとめなど、年間の事例検討や研修の記録として「事例検討・研修報告集」を発行しました。

【決算報告】

- 当期活動増減差額は54,193千円となりました。国庫補助金等の取崩額を除いた増減差額は24,968千円でした。

2015年度決算概要

貸借対照表(2016年3月31日現在)

(単位:千円)

科目		科目	
流動資産	380,910	流動負債	106,820
現金預金	266,865	事業未収金	22,275
事業未収金	105,156	1年以内返済借入金	58,588
その他	8,889	その他	25,957
固定資産	1,815,770	固定負債	381,418
基本財産	1,680,811	設備資金借入金	361,549
建物・建物附属設備	1,007,985	リース債務	1,842
土地	672,826	退職給付引当金	13,526
その他の固定資産	134,959	長期預り金	4,500
		負債合計	488,239
		純資産	1,708,442
		次期繰越	772,306
		(うち当期活動収支差額)	54,193
資産合計	2,196,681	負債及び純資産の合計	2,196,681

2015年度事業収支決算(2015年4月から2016年3月) (単位:千円)

	予算	実績	予算比
介護保険事業収益	697,605	682,507	97.8%
保育事業収益	110,457	97,381	88.2%
障害福祉サービス等収益	763	857	112.3%
ケアハウス収益	43,379	44,731	103.1%
経常経費寄附金収益	240	633	263.8%
サービス活動収益計	852,445	826,110	96.9%
人件費	520,769	510,917	98.1%
事業費	126,754	119,220	94.1%
事務費	102,314	101,632	99.3%
利用者負担軽減額	1,496	796	53.2%
減価償却費	67,284	67,176	99.8%
国庫補助金等特別積立金取崩額	△29,173	△29,225	100.2%
サービス活動費用計	789,447	770,517	97.6%
サービス活動増減差額	62,998	55,593	88.2%
サービス活動外増減差額	△1,975	△1,342	67.9%
経常増減差額	61,024	54,249	88.9%
会計基準当期増減差額	57,544	54,193	94.2%
次期繰越増減額	726,112	772,306	106.4%
国庫補助金関係除く増減差額	28,371	24,968	88.0%

※2016年5月24日、2016年度第1回理事会、第1回評議員会にて承認

2016年度予算概要

2016年度事業収支予算(2016年4月から2017年3月) (単位:千円)

	予算	前年実績比
介護保険事業収益	689,944	101.1%
保育事業収益	114,879	118.0%
障害福祉サービス等収益	812	94.7%
ケアハウス収益	41,452	92.7%
介護職員初任者研修収益	900	—
経常経費寄附金収益	240	37.9%
サービス活動収益計	848,227	102.7%
人件費	527,842	103.3%
事業費	125,726	105.5%
事務費	112,412	110.6%
利用者負担軽減額	1,006	126.4%
減価償却費	59,877	89.1%
国庫補助金等特別積立金取崩額	△24,309	83.2%
サービス活動費用計	802,555	104.2%
サービス活動増減差額	45,672	82.2%
サービス活動外増減差額	△1,121	83.5%
経常増減差額	44,551	82.1%
予備費	7,180	—
会計基準当期増減差額	37,371	69.0%
国庫補助金関係除く増減差額	13,062	52.3%

※2016年3月15日、2015年度第6回理事会、第2回評議員会にて承認

社会福祉法人 鹿児島虹の福祉会

総合的に介護・福祉サービスを提供しています

特別養護
老人ホーム

● 在宅サービス ●

- 訪問介護
- 訪問入浴
- 通所介護
- 認知症対応型通所介護
- 居宅介護支援事業所
- 訪問給食
- ふれあい会食

ケアハウス

保育園

訪問

ヘルパーステーション にじの郷たにやま (訪問介護)

ホームヘルパーがご自宅にお伺いし、身体介護、生活援助を行います。

訪問入浴センター にじの郷たにやま

ご自宅を看護職員を含む三名が訪問し、入浴サービスを提供します。

泊まり

特別養護老人ホーム (ショートステイ) (短期入所生活介護)

介護する方が一時的に介護できない場合など、安心して泊まることができるためのサービスを提供します。

通い

デイサービスセンター にじの郷たにやま (通所介護)

日中の介護とともに、体操やゲーム、脳トレなど機能訓練を行い、心身機能を活発にします。

デイサービスセンター にじの郷たにやま・本町 (認知症対応型通所介護)

手厚い介護で、認知症による行動の障がいをやわらげることができるよう援助します。

相談調整

介護支援センター にじの郷たにやま (居宅介護支援事業所)

サービスを提供する事業所や地域の方々との連絡・調整、制度の活用などについてのアドバイスをを行うことによって、生活を支えます。

2015年4月～

ご来訪いただいたボランティアの皆様方 (順不同)

- ・合唱団「風」
- ・紅友会
- ・琉球乙女会
- ・さくら桜会
- ・ハーモニカ
- ・アングルグループピネガ
- ・楽喜の会
- ・二胡オカリナギターの調べ
- ・小松原一丁目町内会
- ・小松原一丁目桜会
- ・谷山北部地区民生委員会
- ・宇宿地区民生委員会
- ・宇宿地域校区社協
- ・医療生協中山支部
- ・医療生協小松原支部
- ・医療生協谷山東支部
- ・茶園みどり様
- ・宮下幸三様
- ・上野幸一様
- ・山田俱子様
- ・中村美央様
- ・下尾芳子様
- ・南郷尚史様

ありがとうございました。

寄附をいただいた方々 (順不同)

2015年4月から2016年3月まで

誠にありがとうございました。
今後ともご協力よろしく願います。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 前田 清子様 | 近野 登様 | 野崎 麗子様 |
| 田之上修巳様 | 畠中 徳治様 | 岩元 世徳様 |
| 新村 昭雄様 | 山口美奈子様 | 外口 禮子様 |

にじの郷たにやま

第17回

秋まつり

のご案内

お楽しみがいっぱい!!
家族みんなでおいでよ!

とき **2016年9月18日(日)**

ところ にじの郷たにやま 鹿児島市中山町5028番地80



社会福祉法人 鹿児島虹の福祉会

- 特別養護老人ホームにじの郷たにやま (ショートステイ併設)
- デイサービスセンターにじの郷たにやま
- ヘルパーステーションにじの郷たにやま
- 訪問入浴センターにじの郷たにやま
- 介護支援センターにじの郷たにやま
- 本部
〒891-0105 鹿児島市中山町5028番地80
TEL.099-267-3977 FAX.099-267-3180
- ケアハウスにじの郷小松原
〒891-0114 鹿児島市小松原1丁目15-19
TEL.099-210-5130 FAX.099-210-5223
- デイサービスセンターにじの郷たにやま・本町
〒891-0141 鹿児島市谷山中央3丁目4582番地 谷山中央ビル2階
TEL.099-263-5066 FAX.099-263-5068
- にじのさと保育園
〒891-0105 鹿児島市中山町5028番地87
TEL.099-263-1202 FAX.099-263-1208

にじの郷マップ

